

ふくしまの森林文化調査カード

No.38

県 HP公開の可否 (可 ・ 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野(ふりがな)	(分野) 一木造りの仏像	(ふりがな) いちぼくづくりのぶつぞう	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	木造金剛力士立像		
伝承地域	大蔵寺小倉寺観音(福島市小倉寺)		
由来(年代)	大蔵寺は福島市の小倉寺山中腹にある寺院で、平安時代(8世紀末~12世紀末)の仏像28体が伝えられている。		
内容	大蔵寺にある28体の仏像すべてが一木造りであり、千手観音以外は素地のままある。材質はケヤキやカツラが多く、破損しているものも多い。金剛力士立像は像高132.5cmの内割りのない一木造である。両肩には孔がうたれており、ここにかつては腕がつけられていたことが分かる。		
大きさ・材質	(大きさ) 像高132.5cm	(材質)	—
見頃	—		
交通アクセス	公共交通: JR福島駅東口~JRバス川俣駅行 小倉寺前下車 徒歩20分		
文化財等の指定状況	県指定重要民俗文化財		
問い合わせ先	福島県立博物館(Tel:0242-28-6000) 大蔵寺(Tel:024-523-5215)		

【フリーフォーマット】

キーワード	
◇木造金剛力士立像(大蔵寺)	木造金剛力士立像は、ほぼ等身大の立像、頭胴あるいは上膊部まで一木から彫出している。両肩や腰回りなどの肉付や姿勢など、勝常寺、宮城・双林寺四天王像に通じる古様を示している。(「辺境の仏たち」高見徹より)
	
木造金剛力士立像(大蔵寺小倉寺観音)	